

平成30年度下半期水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

安全・安心な給水を継続するため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設及び老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、1,055,357,498円を投じ、管網未整備路線の出水不良の改善と、区画整理地区における管の布設を必要とする箇所を対象に配水管布設工事を行い、口径75～350mmの配水管を7,425m布設しました。

また、浄配水場の耐震化を図るため、平成30年度から平成31年度の2カ年継続事業である神根浄水場第1配水池耐震補強工事を実施しました。

改良事業では、3,276,040,952円を投じ、老朽铸铁管等の更新のため、配水管布設工事として、口径75～700mmの配水管等を10,192m布設しました。

また、改良事業の浄配水場整備工事は、平成30年度から平成31年度の2カ年継続事業である石神配水場自家発電装置更新工事のほか、神根浄水場高圧ケーブル更新工事、新郷浄水場5号井ケーシング更新工事、江戸袋・南鳩ヶ谷水質モニター装置更新工事、神根浄水場No.2配水流量計更新工事、神根浄水場空調機更新工事等を行いました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における給水収益の決算額は10,495,436,050円で、予算現額10,561,013,000円に対し執行率99.4%、受託工事収益は107,573,125円で、予算現額112,574,000円に対し執行率95.6%、水道利用加入金は626,108,400円で、予算現額770,050,000円に対し執行率81.3%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、雑収益等を加えた収入総額は12,013,504,142円で、予算現額12,208,994,000円に対し98.4%の執行率となっています。

一方、収益的支出の決算額は11,154,607,425円で、予算現額11,866,818,000円に対し94.0%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用10,603,622,846円、企業債の支払利息等516,454,297円、特別損失11,207,817円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は858,896,717円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債1,650,000,000円で、このほか、固定資産売却代金、受託工事収入、一般会計負担金、県補助金を加えた決算額は、1,848,282,144円となり、予算現額1,911,480,000円に対して96.7%の執行率となっております。

一方、資本的支出の決算額は6,032,308,225円で、予算現額6,680,168,000円に対し90.3%の執行率となりました。内訳は、建設改良費4,377,617,366円、企業債償還金1,654,690,859円となっております。

3 給水状況

本年度末日の給水人口は604,668人で、前年度に比べ3,620人(0.6%)増、給水世帯数は286,884世帯で、前年度に比べ5,206世帯(1.8%)増となっています。

年間総配水量は64,709,974^m³で、前年度に比べ55,523^m³(0.1%)の増となり、有収水量は58,019,984^m³、有収率は89.66%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 収入済額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
給水収益	10,561,013,000	10,495,436,050	△ 65,576,950	99.4
受託工事収益	112,574,000	107,573,125	△ 5,000,875	95.6
水道利用加入金	770,050,000	626,108,400	△ 143,941,600	81.3
その他営業収益	502,478,000	498,345,037	△ 4,132,963	99.2
受取利息	3,068,000	3,009,473	△ 58,527	98.1
長期前受金戻入	247,521,000	249,892,381	2,371,381	101.0
雑収益	12,289,000	19,543,363	7,254,363	159.0
固定資産売却益	0	36,516	36,516	皆増
過年度損益修正益	1,000	4,895,467	4,894,467	489546.7
その他特別利益	0	8,664,330	8,664,330	皆増
計	12,208,994,000	12,013,504,142	△ 195,489,858	98.4

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 支出済額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
原水及び浄水費	4,714,795,000	4,599,518,728	115,276,272	97.6
配水及び給水費	2,159,209,000	1,902,553,073	256,655,927	88.1
受託工事費	157,440,000	132,959,957	24,480,043	84.5
業務費	965,370,000	905,939,863	59,430,137	93.8
総係費	455,534,000	337,826,039	117,707,961	74.2
減価償却費	2,683,000,000	2,671,578,945	11,421,055	99.6
資産減耗費	32,279,000	53,246,241	△ 20,967,241	165.0
支払利息	541,732,000	516,454,297	25,277,703	95.3
消費税及び地方消費税	117,378,000	20,797,800	96,580,200	17.7
雑支出	2,613,000	2,524,665	88,335	96.6
固定資産売却損	351,000	306,500	44,500	87.3
過年度損益修正損	7,117,000	10,901,317	△ 3,784,317	153.2
予備費	30,000,000	0	30,000,000	皆減
計	11,866,818,000	11,154,607,425	712,210,575	94.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出一覧

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 収入済額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	1,650,000,000	1,650,000,000	0	100.0
固定資産売却代金	22,000	65,144	43,144	296.1
受託工事収入	134,465,000	71,224,000	△ 63,241,000	53.0
負担金	49,012,000	49,012,000	0	100.0
補助金	77,981,000	77,981,000	0	100.0
計	1,911,480,000	1,848,282,144	△ 63,197,856	96.7

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 支出済額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,025,476,000	4,377,617,366	647,858,634	87.1
企業債償還金	1,654,692,000	1,654,690,859	1,141	100.0
計	6,680,168,000	6,032,308,225	647,859,775	90.3

(消費税及び地方消費税込みで表示)

給水の状況

区 分	平成30年度	平成29年度 A	差 引 B (30年度-29年度)	増減率 B/A (%)
給水人口 (人)	604,668	601,048	3,620	0.6
給水世帯数 (世帯)	286,884	281,678	5,206	1.8
総配水量 (m ³)	64,709,974	64,654,451	55,523	0.1
1日平均配水量 (m ³)	177,288	177,135	153	0.1

地方債現在高

平成31年3月31日現在

1 地方債

借入先	水道会計
財政融資資金	千円 21,748,755
地方公共団体金融機構	6,681,814
合計	28,430,569

令和元年度水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市水道事業は、中長期経営計画である「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」において、「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」を事業運営の基本理念として掲げています。

この基本理念を実現するため、平常時だけでなく、災害時にあっても安全・安心な水道水を安定してお届けできるように、各事業を推進していきます。

令和元年度当初予算においては、引き続き、区画整理地区等への配水管の布設や老朽化した配水管の布設替えにより管路の耐震化を図る経費、浄配水場施設の整備に係る経費等を計上しています。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は12,369,512千円で、前年度に比べ160,518千円（1.3%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、給水収益及び消費税還付金の増によるものです。

収益的支出の合計額は11,800,976千円で、前年度に比べ65,842千円（△0.6%）の減で、減額の主な理由は、総係費の退職給付費、消費税及び地方消費税納税額の皆減によるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は2,580,857千円で、内訳は、企業債2,300,000千円、固定資産売却代金84千円、受託工事収入206,300千円、一般会計の負担金70,236千円、県補助金4,237千円となっています。

資本的支出の合計額は6,978,024千円で、内訳は、建設改良費5,337,598千円、企業債償還金1,640,426千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,397,167千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額438,782千円、減債積立金660,000千円、過年度分損益勘定留保資金3,087,263千円、当年度分損益勘定留保資金211,122千円で補てんします。

3 給水状況

令和元年度の総配水量は64,843,000 m³で、前年度から488,000 m³の増を見込みました。このうち、県営水道からの受水量は57,338,000 m³、深井戸からの取水量は7,505,000 m³を見込んでいます。

なお、有収水量は58,514,000 m³、予定有収率は90.24%を見込んでいます。